

奈弓連だより

通巻 197号

平成 30 年 7 月号

発行 奈良県弓道連盟

会長 西中 正

編集担当 野尻賢司 山本悦子

奈良県県民体育大会 市郡対抗戦

団体 男子 香芝市、女子 奈良市

個人 男子 今西選手、女子 西田選手が優勝

第 69 回奈良県県民体育大会が 7 月 1 日(日)に橿原公苑弓道場で開催されました。参加者は市郡対抗戦男子 30 名、女子 23 名、公開競技は男子 16 名、女子 15 名でした。市郡対抗戦は 1 団体近的 24 射、遠的 24 射、公開競技は近的 4 射、遠的 4 射の合計の中数により順位を決めました。当日は例年通りの猛暑日で、今年も遠的会場では容赦なく照りつける太陽の中、競技が行われました。結果は次の通りです。

市郡対抗戦

団体競技 成年男子の部

1 位 香芝市 2 位 生駒郡 3 位 五條市
(29 中) (29 中) (27 中)

監督：竹村 邦夫 監督：平木 一史 監督：西中 正

1 岡 雅佳	1 蔵地 隆文	1 今西 達也
2 江澤 翔	2 平木 一史	2 中西 省五
3 辻本 元威	3 乾 光孝	3 栗本 範雄

団体競技 成年女子の部

1 位 奈良市 2 位 香芝市 3 位 橿原市
(26 中) (19 中) (18 中)

監督：明瀬 綾子 監督：牧浦 信恵 監督：東中 千佳

1 栄島 なるみ	1 脇阪 佳エ	1 長濱 有美
2 井上 ゆみ子	2 梶原 浩子	2 衛藤 明美
3 西田 ゆり	3 白井礼子	3 前川 なつき

個人競技

成年男子の部

1 位 今西 達也	15 中	1 位 西田 ゆり	12 中
2 位 山口 亮二	15 中	2 位 白井 礼子	11 中
3 位 辻本 元威	12 中	3 位 栄島 なるみ	8 中

成年女子の部

公開競技

成年男子の部

1 位 松本雄介	1 位 前川和世	1 位 腰越和雄
2 位 角田圭一郎	2 位 松田靖子	2 位 楠田成器
3 位 檜尾涼	3 位 西谷あずさ	3 位 小西徳子

成年女子の部

熟年の部

(競技部 西田ゆり)

国民体育大会・奈良県代表の最終選考会 成年の部、少年の部を同時開催

6月24日(日)に橿原公苑弓道場・庭球場において第73回国民体育大会(福井国体)少年・成年の最終選考会が開催されました。

成年の部

今年度は、正選手3名を決定せず補欠を含めた、男女それぞれ5名の選手が選ばれました。

男子候補選手

奥田 章人(橿原)、階戸 尊(県立奈良医大)、
新子 修平(五條)、今西 達也(五條)、
松本 雄介(香芝)

女子候補選手

松澤 和実(奈良)、揚田 よう子(奈良)、
林 秀子(橿原)、前川 なつき(橿原)、
土谷 ひろみ(奈良)

少年の部

成年と同時にいったため、いつもの高校生の試合とは違う雰囲気の中、選手たちは緊張した面持ちで試合に望みました。4月に行われた県高校弓道選手権大会に出場した選手の中から、選考された男女18名の選手が、午前中近的12射、午後遠的12射を引き射技・体配・的中など総合的に優れた選手男女5名を選考しました。

女子候補選手

植木 鈴華(郡山高)、芳田 小都希(畝傍高)
吉田 智美(平城高)、井上 美風衣(郡山高)
吉田 実莉(平城高)



少年の部 女子候補選手に選ばれた選手達

男子候補選手

西谷 永 (樫原高)、久田 悠平 (郡山高)
 吉村 勇人 (奈良工業高専)
 鍵谷 悠喜 (榛生昇陽高)、藤岡 晋平 (平城高)



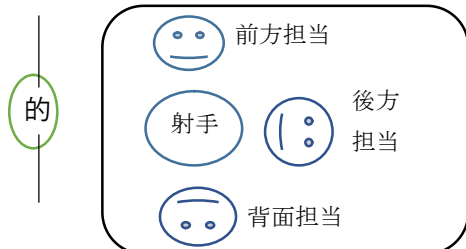
少年の部 男子候補選手に選ばれた選手達
 (強化部 長濱正伸、高体連 藤村佳照)

第3回伝達講習会開催(四、五段、支部指導者対象) 【射手の鏡】となって相互に高めあう

7月8日(日) 樫原公苑弓道場において四、五段、支部指導者対象の第3回伝達講習会が開催されました。本年度の地区指導者講習会に参加された吉本清巳さんが主任講師、綿松さん、松村さんが講師を務めました。大変暑い中 57 名の方が受講されました。矢渡は射手：綿松講師、第一介添：中野受講生、第二介添：榎本受講生で行われました。介添講評は第1回伝達講習会と同様に講師と受講生が行い、伝達事項の説明、一手行射、相互研修(四段以下)、持的射礼研修(五段以上)、質疑応答の時間を取るなどして一日の日程を終了しました。

四段以下の相互研修では、第2回伝達講習会と同じように、1グループ4人で順次担当場所を交代しながら行いました。

<相互研修のイメージ>



この研修のポイントとしては、射手を指導するのではなく【射手の鏡】になって修正を都度はっきり射手に伝え(担当場所ごとのチェック項目)、良いときは褒め、射手に自信と自覚を持たせることです。最初は、遠慮もあったり、慣れていないこともあったようで中々はっきり伝えることが出来ない班も見受けられましたが、徐々に慣れてきた様子で研修は終了しまし

た。この3方向のチェックは的確・簡潔に伝える、見る目を養うという意味で良い稽古になると思います。

五段以上の持的射礼の研修では、4人持的射礼で計10立行い、行射する立、指導する立、記録する立に分かれ、相互に研修を行いました。

今回参加された受講生の方は各支部での会員への伝達をよろしくお願いいたします。



持的射礼で相互研修を行う五段以上の受講生達
 (指導部 東中千佳)

奈良県教職員弓道大会

男子 平木選手、女子 榎田選手が優勝

6月30日(土) 樫原公苑弓道場にて標記大会を開催しました。暑い日となりましたが、19名の参加者は座射にて一手5回の10射で数を競いました。

結果は次の通りです。

男子の部

- 1位 平木一史 7中
- 2位 奥田章人 6中
- 3位 前川彰吾 6中

女子の部

- 1位 榎田容子 5中
- 2位 坂本美智子 4中
- 3位 明崎静代 3中

(2位3位は遠近法で決定)

その後総会を行い終了しました。午後からは、第2回伝達講習会(教職員対象)へ移行しました。午前中は生徒たちの指導をされていた先生方も参加され、蒸し暑い日でしたがいい一日となりました。

(教職員 土谷尚敬)

奈良市女子講習会開催

射技・体配の向上を目指すと共に親睦を図る

6月24日奈良市弓道場で平成30年度奈良市女子講習会が「女子の射技・体配の向上及び親睦を図る」を目的に開催されました。講師は深田紀美子、野尻祥枝、明瀬綾子、岡本薫子の各先生が担当。今年は式段から錬士六段までの会員26名が参加。講習会としては適度な数であり、基本体をしっかり身に付けて、射礼を行うプログラムで実施することが出来、充実した内容の講習会となりました。

深田講師が射手、受講生が介添えでの矢渡しの後、全員が一手行射。その後、執弓の姿勢、座り方、立ち方、開き足、矢番えなどの割り稽古をし、入退場を含めて息合いの揃う、動きを目指しました。また襷がけはかなりの時間を割き、細かいところまで練習することが出来たと思います。その後、三段以上の受講生は持的射礼、式段は一手行射を行い、講習を終了。

午前中は比較的過ごし易かったのですが、午後からは気温が上昇。ムシムシする厳しい暑さの中、参加者の皆さんは、各自水分補給しながら、熱心に受講されていました。

(奈良支部 野尻祥枝)

布目弓道大会

晴天の下、参加申し込み 120 名超 盛大に開催

6月16日山添村布目弓道場にて第24回布目弓道大会が開催されました。今年は、県外(石川・長野県)から4人、さらにわかきスポーツ少年団や平城高校・奈良医大からの参加もあり、エントリーは120名を超えました。また、開会式には、森中村長・西久保教育長にもご出席いただき、盛大に開催することが出来ました。梅雨の最中にもかかわらず、天候に恵まれたのが何よりでした。皆さんのご協力のおかげで30分遅れの開会式になりましたが、無事終わることが出来ました。ありがとうございました。

結果は次の通りです。

技能優秀の部

技能最優秀賞 松本 雄介
技能優秀賞 三浦 崇道
技能優秀賞 山口 亮二

一般の部

優勝 栄島なるみ 二位 中井 達男
三位 松本 雄介

弓道教室の部

優勝 乾 千尋 二位 石橋 悠生
三位 花瀬 晟



布目弓道大会に120名を超える選手が参加

(布目支部 吉本清信)

大和郡山市遠的練習会開催

青空の下で引く弓は開放的で爽快

6月9日(土)、大和中央高等学校グラウンドで大和郡山市弓道協会遠的練習会を行いました。今回は14名が参加しました。前日が大雨だったので天候を心配していましたが、当日は晴天で、蒸し暑く風が強かったです。先輩の指導を受けながら四ツ矢×3回の後、自由練習をしました。

私を含め初段の3名は、遠的初心者ということで、40m、60mと距離を伸ばして的に立ちました。青空の下で引く弓は開放的で爽快でした。練習の途中で「射距離が短いのでは？」と測り直しがありましたが問題無く、追い風の影響で短く感じたようです。私はそのような影響にもかかわらず、なかなか矢が届かずもつと練習が必要だと感じました。まずは課題の一つでもある「引き分けを大きく開き、下筋を張る」事を意識して練習しました。

同期の村山さんは今回2回目の参加で、最初は的に届かずアドバイスを受けながら何度も練習を繰り返し、最後にバシッと大的に中り、全員の歓声と拍手が上がりました。次は私も結果が出せるようにしたいと思います。



蒸し暑く風が強い日でしたが、遠的練習会に14名が参加
(郡山支部 今井 史)

編 | 集 | 後 | 記

記録的な猛暑の中、各種競技会、講習会、練習会が開催されました。

伝達講習会の報告がありましたが、昨年に引き続き、今年度も指導方針は「弓道教本及び副読本に基づいた基本の徹底」です。いかに基本が大切かだと思います。また記事で、指導者は「良いときは褒め、射手に自信と自覚を持たせること」とありました。竹林派稽古修業心得にも「稽古には悪しき所は多くとも、五度に四度はほめて射させよ」という歌があり、これはビジネス界、育児でも同様に、人を指導するうえで留意すべきことですね。

編集担当 野尻賢司